



研究テーマ

人間の情報取得に大きく影響する視覚・聴覚特性に着目した快適な環境づくりのための研究を行っています。

研究内容・魅力

人間は知らないうちに様々な環境要因より刺激を受けています。特に、人間の五感による情報判断の割合は視覚が約8割、聴覚が約1割でほとんどの情報を目と耳で判断しています。これを基に、利用者が快適に過ごせる環境づくりのための研究を行っています。快適な明るさや音の響き、リラックスできる雰囲気のための色彩や購買意欲を高める商業店舗のインテリアなど、誰もが満足できる環境にするために努力しています。

キーワード

環境心理 # 光環境 # 色彩環境 # 音環境 # スマートホーム



これまでの学外連携・社会貢献・地域連携活動

住環境にはいくつかの守られるべき権利があります。その中でも日照権侵害や床衝撃音の問題は場合によっては大きな社会問題になることもあります。本研究室では実際に被害を受けている物件を対象に、物理的・心理的にどのような影響を受けているのかを検討する活動を行っています。

ひとこと

思わず入ってしまったお店、なぜここに入ってしまったのか、何に引っかかったのかをよく考えてみたらその店が出している雰囲気や答えがあります。気分転換が必要な時によく行く公園、一人での時間が必要な時に行くカフェ、大事な話がある時に行くパブなど、皆さんにも目的によって行く場所が決まっているのではないのでしょうか。観察して、その理由を自分なりに考えてみることで見る目は変わります。ぜひ、試してみてください。

